

薬剤師国家試験対策 「知識の横断的な活用」

多様かつ複雑な知識を必要とする医療の現場において、薬剤師が医療の担い手として役割を果たすには、修得した知識を最大限発揮して責任ある行動をとることが求められます。第106回薬剤師国家試験(国試)からは、「改訂コアカリ」で学んできた学生が「新出題基準」の適用される試験

を受けます。既に近年の国試では、**科目の壁を超えた問題**など「**総合的な知識**」や「**考える力**」を必要とする出題が見られます。「改訂コアカリ」や「新出題基準」における新たな項目や、求められている**臨床的知識**について、近年の国試を例に紹介します。



猪又 雄太
薬理科目責任者



後藤 健太
病態・薬物治療
科目責任者



横井 宏哉
薬剤科目責任者

医学アカデミー
薬学ゼミナール

薬理学と病態・薬物治療学の総合的な知識

本設問は、近年、理論問題で出題されるようになった**薬理学と病態・薬物治療学の連問**で、痛風発作の治療およびその後の予防に関する問題です。

■第105回国試 問167～168

47歳男性。身長172cm、体重85kg。38歳時より高血圧を指摘され、下記処方にて治療を受けていた。日常、ビールを飲むことが多い。(処方)

カンデサルタンシレキセチル錠 8mg 1回1錠(1日1錠)
1日1回 朝食後 14日分

子供の運動会で短距離走に出場した。運動会終了後、懇親会にて飲酒した次の日、右足母趾の腫脹と痛みを認めた。その後、痛みは徐々に増悪し、患部の赤く腫大した状態が2日間持続していると訴え受診した。

問167(病態・薬物治療)

患者が訴えている症状を速やかに改善させるために処方される薬物として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1 フェブキソスタット 2 ベンズプロマロン
- 3 メトホルミン塩酸塩 4 ナプロキセン
- 5 アトルバスタチンカルシウム水和物

問168(薬理)

精査の結果、この患者では左腎結石を認め、以下の検査結果が得られた。
検査値：血圧136/86mmHg、空腹時血糖値110mg/dL、HbA1c6.1%(NGSP値)、LDL-C140mg/dL、TG(トリグリセリド)210mg/dL、血清クレアチニン値1.1mg/dL、eGFR68mL/min/1.73m²、BUN21mg/dL、尿酸値10.5mg/dL

患者が訴えている症状が寛解した後、その症状の再発を予防する目的で投与される薬物に関する記述のうち、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1 キサンチンオキシダーゼを阻害し、尿酸生成を抑制する。
- 2 腎尿細管において、尿酸の再吸収を抑制する。
- 3 尿酸をアラントインと過酸化水素に分解する。
- 4 シクロオキシゲナーゼを阻害する。
- 5 チューブリンと結合して微小管重合を阻害し、好中球の遊走を抑制する。

<問167解答> 4
<問168解答> 1

<横断的なアプローチ(病態から薬理へ)>

病態では、**様々な症状や検査結果から、患者の病態を的確に判断**

し、それを**治療方針の決定につなげる能力**が求められます。更に薬物治療を行う上での注意点を確認し、適切な薬物治療の実践を行うことが重要となります。

薬理では、患者の症状から問題点を把握し、治療薬の選択を作用機序を考慮して導く力が求められています。今回の問題文には複数の検査結果が記載されていますが、「患者の抱える問題点は何か」を考え、治療薬の作用機序へとつなげていく必要があります。薬理学を単独で学修するだけでなく、**薬物と病態(患者)をつなげる力**を養っていきましょう。

<具体的なアプローチ>

問167

①共通リード文の嗜好と症状から疾患を推測しよう!

患者の「日常、ビールを飲むことが多い」という習慣的な飲酒歴、「右足母趾の腫脹と痛み」という症状から高尿酸血症による痛風発作と予測します。

②リード文から目的を把握しよう!

「患者が訴えている症状を速やかに改善させる」ためには、痛風発作の極期に使用される非ステロイド性抗炎症薬(ナプロキセン)を選択する必要があります。ここでのもう一つのPOINTは、痛風発作が悪化するため、痛風発作が生じている患者に対しては、尿酸値を下げる薬物の投与開始はできない点です。

●痛風関節炎治療薬

治療薬	特徴
<非ステロイド性 酸性抗炎症薬> インドメタシン ナプロキセン	・シクロオキシゲナーゼ阻害によりPG生成を阻害することで強い抗炎症作用を示す ・初期から発作極期までの第一選択薬である ・ 極期：短期大量投与 ・ 軽快期：常用量投与

※新青本⑦「痛風関節炎治療薬」より抜粋して引用

問168

①検査結果を理解しよう!

尿酸値10.5mg/dLであり、高尿酸血症が確認できます。



薬のことなら **薬事日報ウェブサイト**

『薬事日報』に掲載される記事を中心に、医薬業界のニュースサイトとして成長を続けています。

一般からのアクセスは少なく、閲覧者の多くが医薬業界に属しております。業界の情報収集にご活用ください。

<https://www.yakuji.co.jp>

薬事日報 検索

「薬学生新聞」も
ウェブサイトに公開中!!